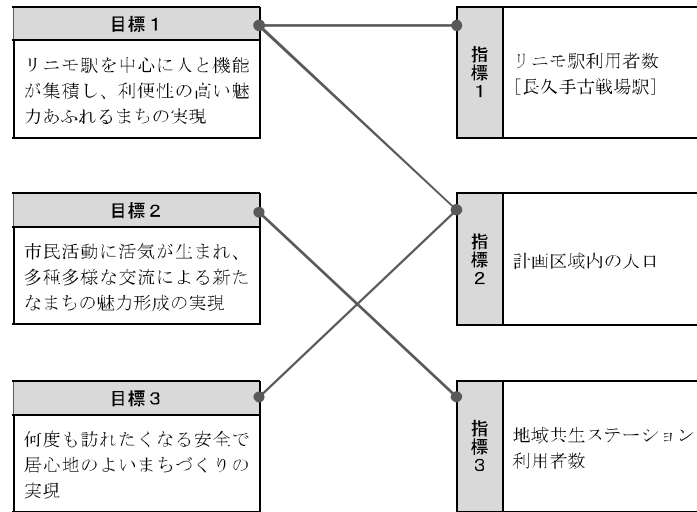


1. 指標の達成状況の根拠資料【長久手古戦場駅周辺地区】

目標と指標の関係

□目標

□目標を定量化する指標



『指標 1：リニモ駅利用者数[長久手古戦場駅]（人/年）』

従前値＝1,228,000（人/年）[目標値＝1,388,000（人/年）]

愛知高速交通株式会社のホームページに公表されている平成 27 年度の利用者数（計画策定時の最新）より設定した。

■リニモ駅の利用者推移

年度	発	着	利用者数 (千人)
H16	38	30	68
H17	812	464	1,276
H18	296	282	578
H19	319	303	622
H20	353	339	692
H21	357	349	706
H22	496	485	981
H23	557	547	1,104
H24	582	576	1,158
H25	618	610	1,228
H26	573	567	1,140
H27	618	610	1,228

資料：愛知高速交通株式会社

従前値：1,228（千人）

+341,000（人/年）

評価値＝1,569,000（人/年）【達成度 ○】

愛知高速交通株式会社のホームページに公表されている平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）の利用者数より、伸び率と新型コロナウイルス感染症による影響を推計して算出した。

考え方

○平成 23 年度～令和 2 年度の過去 10 年間の年間利用者数の推移をみると、平成 27 年度までは 1,000（千人）程度で推移しているが、平成 28 年度以降、約 2,000（千人）に増加している。これは、地区内で平成 28 年にイオンモール長久手が開店したことが要因と考えられ、この傾向は今後も継続すると考えられるため、平成 28 年度以降の利用者推移から評価値を算出することとした。

○一方、令和 2 年度では、年間利用者数が約 1,500（千人）まで減少している。これは新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、移動の制限・自粛が高まったことや、リニモ駅を利用する大学生の利用が、大学のオンライン授業の導入により減少したことが要因と考えられる。また、令和 3 年度においても、一定期間緊急事態宣言が発出されているなど、移動の制限・自粛が続いており、大学の授業についても、令和 2 年度と比較すると若干対面による授業が増えてはいるが、令和 3 年度の利用者数は引き続き新型コロナウイルス感染症による影響を受けると予測される。

○以上を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前（平成 28 年度～令和元年度）の利用者数推移から、令和 2 年度、令和 3 年度の年間利用者数を推計し（新型コロナウイルス感染症による影響が無かった場合の推計）、次に、令和 2 年度における推計値と実際の利用者数を比較し、その減少率を令和 3 年度にも適用して評価値を算出することとした。

■リリモ駅の利用者数推移（H23～R2 年度）



■リリモ駅からバスが運行されている大学のオンライン授業の実施状況(聞き取り調査の結果)

大学名	前期/後期	オンライン授業の実施状況	備考
愛知学院大学	R 2 前期	8～9 割	・ R2前期は例外除き、基本はオンライン授業。
	R 2 後期	3～4 割	
	R 3 前期	3～4 割	
	R 3 後期	2～3 割	
名古屋外国語大学	R 2 前期	5 割	・ 緊急事態宣言期間中は全てオンライン授業。 ・ 緊急事態宣言期間以外は、学籍番号の奇数、偶数で 5 割対面授業。 ・ R3後期は10割対面授業だが、3,4年生は新キャンパスに通学（名古屋駅）。
	R 2 後期	5 割	
	R 3 前期	5 割	
	R 3 後期	—	
名古屋学芸大学	R 2 前期	8 割	・ R2前期は4月1日始業を5月中の始業に変更。終業も7月末が8月末にずれこんだ。スタート当初はコロナの実態がわからず手探りだったため、この割合。 ・ 学校の方針として、対面授業重視。実習等も多いことからR2後期からはなるべく対面になるよう努力している。
	R 2 後期	3 割	
	R 3 前期	3 割	
	R 3 後期	3 割	
愛知医科大学	R 2 前期	5 割	・ 授業は基本的に 5 割対面授業。 ・ 古戦場駅からバス通学している学生数は把握できていない。 ・ 自転車通学が多い。
	R 2 後期	5 割	
	R 3 前期	5 割	
	R 3 後期	5 割	

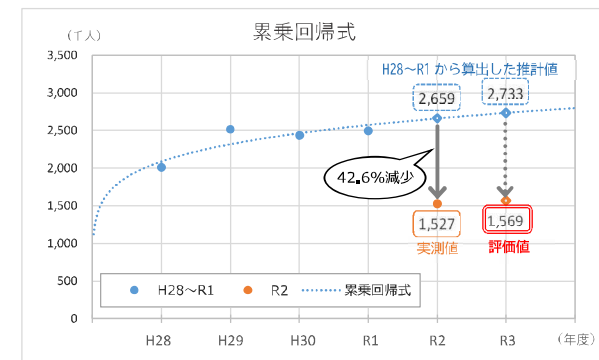
＜ 評価値の算出 ＞

■リリモ駅の利用者数推移（H28～R2 年度）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用者数	2,010	2,514	2,435	2,492	1,527

	直線回帰式 $y=ax+b$	対数回帰式 $y=a\log x+b$	指数回帰式 $y=ae^{bx}$	累乗回帰式 $y=ax^b$
決定係数	0.5221	0.7197	0.5578	0.7265
a 値	136.7	335.17	2,018.9	2,088.4
b 値	2,021	2,096.5	0.0613	0.1502
R2年度	2,705	2,636	2,743	2,659
R3年度	2,841	2,697	2,916	2,733

※決定係数が最も高い累乗回帰を採用



評価値：1,569（千人）

『指標 2：計画区域内の人口（人）』

従前値＝11,895（人）[目標値＝12,216（人）]

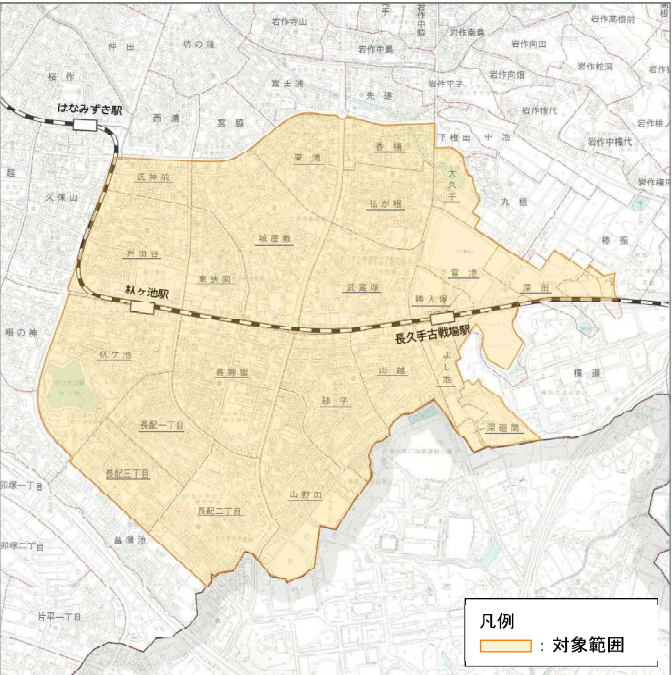
住民基本台帳における計画区域内の合計人口とし、平成 28 年 10 月 1 日時点の人口（計画策定時の最新）より設定した。

また対象とする地区は、区域の半分以上が計画区域内に含まれる 22 地区とした。（以下の表の黄色のセル）

■H28 年の人口（10 月 1 日時点）

長湫地区		46,354人	18,799戸			
地区名	人口	世帯	字コード	地区名	人口	世帯
東京	51 人	27 戸	1440	根の神	1,408 人	600 戸
池田	157 人	65 戸	1450	蟹原	2,598 人	992 戸
西原	54 人	21 戸	1460	井堀	965 人	470 戸
草掛	128 人	51 戸	1470	熊田	843 人	388 戸
下川原	851 人	397 戸	1480	作田一丁目	816 人	389 戸
中川原	2 人	1 戸	1490	作田二丁目	1,038 人	436 戸
樺木	254 人	107 戸	1500	打越	742 人	325 戸
南原山	182 人	102 戸	1510	久保山	968 人	404 戸
下山	153 人	69 戸	1520	桜作	897 人	447 戸
西原山	2,351 人	849 戸	1530	五合池	1,313 人	577 戸
東京山	878 人	393 戸	1540	塚田	1,730 人	767 戸
丁子田	596 人	250 戸	1550	平池	762 人	393 戸
片平	119 人	49 戸	1560	原山	78 人	48 戸
勝入塚	0 人	0 戸	1570	荒田	1,304 人	432 戸
深廻間	0 人	0 戸	1580	段の上	991 人	377 戸
下権田	58 人	22 戸	1590	原邸	385 人	157 戸
丸根	163 人	51 戸	1600	山桶	483 人	191 戸
菅池	0 人	0 戸	1610	鴨田	825 人	303 戸
大久手	47 人	17 戸	1620	野田農	579 人	214 戸
横道	61 人	48 戸	1630	仲田	710 人	264 戸
深田	0 人	0 戸	1640	坊の後	633 人	231 戸
樺振	11 人	5 戸	1650	西浦	343 人	125 戸
よし池	8 人	4 戸	1660	宮脇	333 人	114 戸
中池	64 人	17 戸	1670	富士浦	949 人	327 戸
上川原	1,051 人	464 戸	1680	東浦	613 人	228 戸
氏神前	399 人	161 戸	1690	先達	311 人	113 戸
戸田谷	863 人	366 戸	1700	香桶	390 人	143 戸
東狭間	420 人	164 戸	1710	仏が根	756 人	316 戸
城屋敷	801 人	347 戸	1720	卯塚一丁目	0 人	0 戸
武蔵塚	642 人	292 戸	1730	卯塚二丁目	0 人	0 戸
山越	469 人	177 戸	1740	根越	368 人	195 戸
砂子	1,209 人	494 戸	1750	市が洞一丁目	862 人	289 戸
山野田	1,118 人	451 戸	1760	市が洞二丁目	597 人	196 戸
喜婦緑	1,106 人	469 戸	1770	市が洞三丁目	1,207 人	363 戸
秋ヶ池	1,032 人	440 戸	1780	片平一丁目	777 人	264 戸
長配一丁目	728 人	297 戸	1790	片平二丁目	767 人	274 戸
長配二丁目	775 人	313 戸				
長配三丁目	519 人	210 戸				
菰蒲池	687 人	251 戸				

長久手古戦場駅周辺地区の人口（ ） 11,895 人



■対象とした地区（22 地区）

対象とした地区（22 地区） 一覧

勝入塚、深廻間、菅池、大久手、深田、よし池、氏神前、戸田谷、東狭間、城屋敷、武蔵塚、山越、砂子、山野田、喜婦緑、秋ヶ池、長配一丁目、長配二丁目、長配三丁目、東浦、香桶、仏が根

+1,240(人)

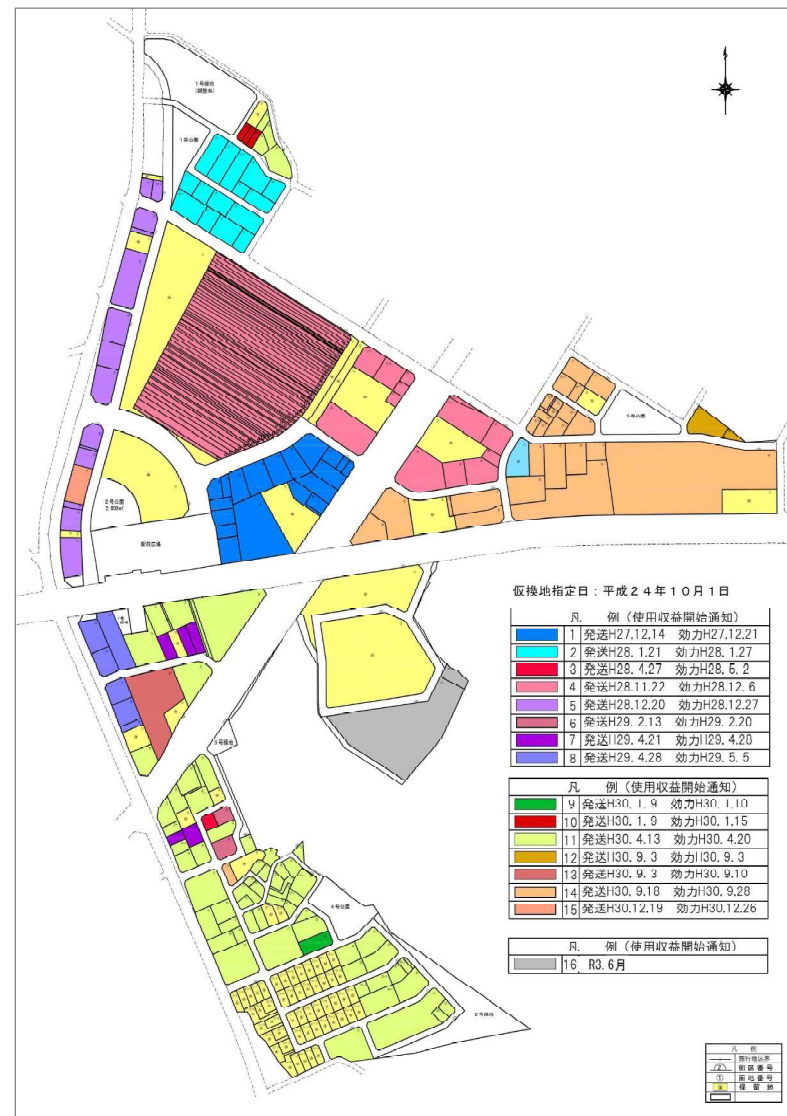
評価値=13,135(人)【達成度 ○】

住民基本台帳における計画区域内の合計人口とし、平成29年～令和3年(5年間)の4月1日時点の人口より伸び率を推計し、算出した。

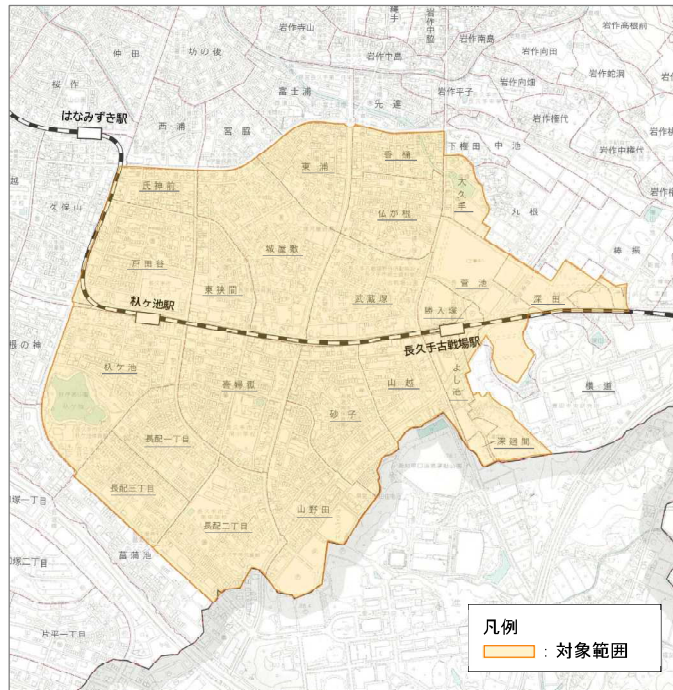
考え方

○地区内の一部で、平成22年度から長久手中央土地区画整理事業が行われており、平成27年12月から使用収益が順々に開始し商業施設が立地され、平成29年度以降は宅地化も進んでいる。令和4年度の上地区画整理の完了に向けて、上地区画整理事業地区内では今後も同様に宅地化が進むことが考えられるため、平成29年～令和3年の人口推移から評価値を算出することとした。

○また、対象とする地区は、計画策定時と同様の考え方とするが、計画策定時に対象としていなかった横道において、土地区画整理が進んだことで、計画区域内に含まれる範囲の宅地化が著しく進んだ。これを加味する必要があると考えられるため、横道の人口の計画策定時(従前値の算出時)からの増加分を計上して評価値を算出することとした。



■長久手中央土地区画整理事業の使用収益開始通知一覧図



■対象とした地区（23 地区）

対象とした地区（23 地区）一覧

勝入塚、深畑間、菅池、大久手、横道、深田、よし池、氏神前、戸田谷、東狭間、城戸敷、武蔵塚、山越、砂子、山野田、喜婦嶽、秋ヶ池、長配一丁目、長配二丁目、長配三丁目、東浦、香桶、仏が根

＜ 評価値の算出 ＞

■H29～R3 の人口推移（4 月 1 日時点）（人）

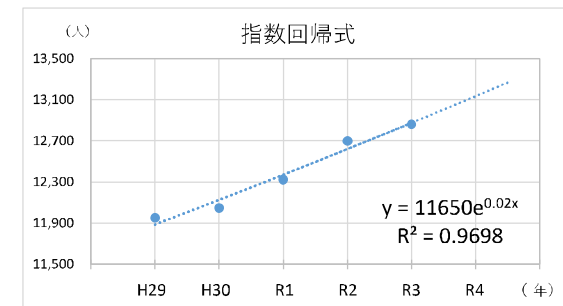
H29	H30	H31	R2	R3
11,948	12,046	12,323	12,698	12,861

※「横道」に関しては、計画策定時(61 人)からの増加分を計上

	直線回帰式 $y=ax+b$	対数回帰式 $y=a\log x+b$	指数回帰式 $y=ae^{bx}$	累乗回帰式 $y=ax^b$
決定係数	0.9688	0.87	0.9698	0.8742
a 値	247.8	584.24	11,650	11,823
b 値	11,632	11,816	0.02	0.0472
R4	13,119	12,863	13,135	12,866

（人）

※決定係数が最も高い指数回帰を採用



評価値：13,135（人）

＜ 参考 ＞

R4.1 月 1 日時点の人口：13,055（人） 評価値との差：80（人）

『指標3：地域共生ステーション利用者数（人）』

従前値＝0（人/年）〔目標値＝5,138（人/年）〕

令和元年に整備が終了する施設であることから、従前値は0と設定した。

+9,113（人/年）

評価値＝9,113【達成度 ○】

地域共生ステーションの開設（令和2年9月）以降の利用者数より、令和3年度の下半期の利用者数を推計し、算出した。

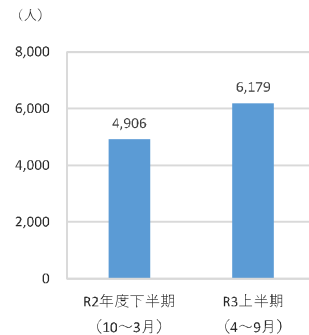
考え方

○地域共生ステーションの利用者数は、季節や地域のイベント、小学校の長期休み等、月ごとに似た傾向がみられると考えられるため、令和2年9月～令和3年9月の利用者数から上半期に対する下半期の利用者数の割合を算出し、この割合から令和3年度下半期の利用者数を推計して評価値を算出することとした。

○また、施設が舐ヶ池公園内にあるため、トイレのみの利用者が含まれており、これに考慮した評価値の算出が必要と考えられる。そのため、令和3年度以降に計測したトイレのみの利用者数を勘案し、評価値を算出することとした。

■地域共生ステーションの利用者数推移

	(人)	
	R2年度 利用者数	R3年度 利用者数
4月	-	1,017
5月	-	1,079
6月	-	1,160
7月	-	1,153
8月	-	916
9月	467	854
10月	645	
11月	833	
12月	612	
1月	478	
2月	939	
3月	1,399	
合計	5,373	6,179



■トイレのみの利用者割合（R3年度4月以降）

	R3年度		
	利用者数 (人)	トイレのみの利用者数 (人)	割合 (%)
4月	1,017	298	29.3%
5月	1,079	271	25.1%
6月	1,160	197	17.0%
7月	1,153	120	10.4%
8月	916	71	7.8%
9月	854	103	12.1%
10月	1,172	254	21.7%
平均	1,050	187.7	17.8%

＜評価値の算出＞

■利用者数推移（R2年度上半期、R3年度下半期）とトイレのみの利用者数割合

R2年度下半期（10～3月）	4,906人	・・・①
R3年度上半期（4～9月）	6,179人	・・・②
トイレのみの利用者割合	17.6%	・・・③

- ・上半期に対する下半期の割合
① ÷ ② = 0.79 ・・・④
- ・令和3年度下半期の利用者数の推計値
② × ④ = 4,881（人） ・・・⑤
- ・②④より、令和3年度の利用者数の推計値
② + ⑤ = 11,060（人） ・・・⑥
- ・⑥のうち、トイレのみの利用者17.6%を除いて評価値を算出
⑥ × (1 - ③) = 9,113（人）

評価値：9,113（人）

2. 指標の達成状況の根拠資料【公園西駅周辺地区】

目標と指標の関係

□目標

目標 1
交通結節点機能の強化を図り、エコな行動が実践できるまちの実現

目標 2
潤いと憩いが共存し、身近にエコが実感できるまちの実現

□目標を定量化する指標

指標 1
リニモ駅利用者数
[公園西駅]

指標 2
計画区域内の人口

『指標 1：リニモ駅利用者数[公園西駅]（人/年）』

従前値＝405,000（人/年）【目標値＝466,000（人/年）】

愛知高速交通株式会社のホームページに公表されている利用者数より、計画策定時の最新年度は平成 27 年度となっているが、この年、緑化フェアが実施されたため、平成 26 年以前よりも利用者数が大幅に増加している。このため、特異値として、前年の平成 26 年度の利用者を従前値として設定した。

■リニモ駅の利用者推移

（千人）

年度	発	着	利用者数
H16	109	93	202
H17	1,980	1,212	3,192
H18	139	145	284
H19	194	179	373
H20	186	187	373
H21	193	192	385
H22	195	196	391
H23	212	218	430
H24	209	214	423
H25	209	215	424
H26	201	204	405
H27	221	223	444

資料：愛知高速交通株式会社

利用者数：405（千人）

+226,000（人/年）

評価値＝631,000（人/年）【達成度 ○】

愛知高速交通株式会社のホームページに公表されている平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）の利用者数より、伸び率と新型コロナウイルス感染症による影響を推計して算出した。

考え方

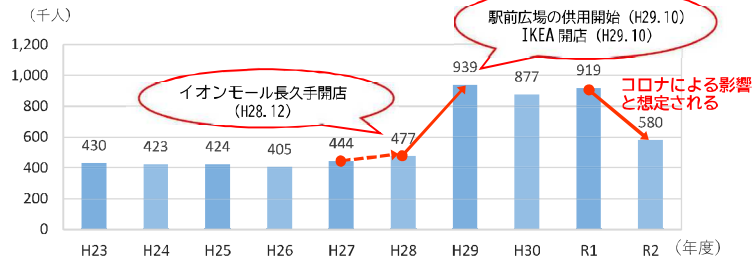
○平成 23 年度～令和 2 年度の過去 10 年間の年間利用者数の推移をみると、平成 28 年度までは 400（千人）程度で推移しているが、平成 29 年度で約 900（千人）程度と急激に増加しており、平成 30 年～令和元年までは横ばいで推移していた。これは、計画に位置付けられている事業の効果や平成 28 年に周辺の地区でイオンモール長久手、平成 29 年に、駅前広場の供用が開始したこと、地区内で TKFA が開店したことが要因と考えられ、この傾向は今後も継続すると考えられる。

○一方、令和 2 年度では、年間利用者数が約 600（千人）まで減少している。これは新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、移動の制限・自粛が高まったことや、リニモ駅を利用する大学生の利用が、大学のオンライン授業の導入により減少したこと、モリコロパークでのイベント数が減少したことが要因と考えられる。また、令和 3 年においても「一定期間緊急事態宣言が発出されているなど、移動の制限・自粛が続いており、大学の授業についても、令和 2 年

度と比較すると若干対面による授業が増えてはいるが、未だオンライン授業は継続されているため、令和3年度の利用者数についても、新型コロナウイルス感染症による影響を受けると予測される。

○以上を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前（平成29年度～令和元年度）の利用者数推移から、令和2年度、令和3年度の利用者数を推計し（新型コロナウイルス感染症による影響が無かった場合の推計）、次に、令和2年度における推計値と実際の利用者数を比較し、その減少率を令和3年度にも適用して評価値を算出することとした。

■リニモ駅の利用者数推移（H23～R2年度）



■モリコロパークのイベント数、イベント参加者数（R1からR2の減少割合）

	R1→R2
イベント数	30%減
参加者数	82%減

資料：長久手市

■リニモ駅からバスが運行されている大学のオンライン授業の実施状況（聞き取り調査の結果）

大学名	前期/後期	オンライン授業の実施状況	備考
名古屋商科大学	R2前期	10割	
	R2後期	4割	
	R3前期	2割以下	
	R3後期	2割以下	

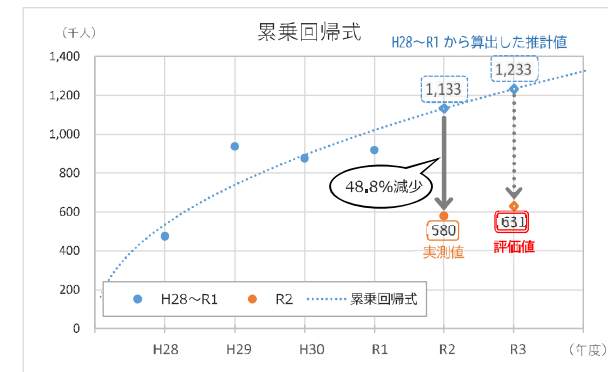
＜評価値の算出＞

■リニモ駅の利用者数推移（H28～R2年度）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用者数	477	939	877	919	580

	直線回帰式 $y=ax+b$	対数回帰式 $y=a\log x+b$	指数回帰式 $y=ae^{bx}$	累乗回帰式 $y=ax^b$
決定係数	0.5559	0.7262	0.5693	0.7415
a 値	126.4	310.25	482.16	535.53
b 値	478	556.5	0.1899	0.4654
R2年度	1,110	1,056	1,246	1,133
R3年度	1,236	1,112	1,507	1,233

※決定係数が最も高い累乗回帰を採用



評価値：631（千人）

『指標 2：計画区域内の人口（人）』

従前値＝25（人）[目標値＝233（人）]

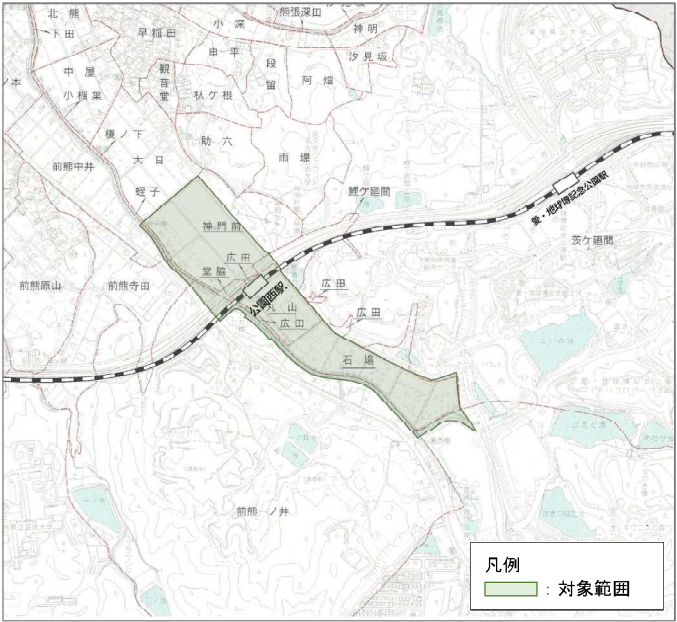
住民基本台帳における計画区域内の合計人口とし、平成 28 年度 10 月 1 日時点の人口（計画策定時の最新）より設定整理した。

また対象とする地区は、区域の半分以上が計画区域内に含まれる 5 地区とした。（以下の表の緑色のセル）

■平成 28 年の人口（10 月 1 日時点）

熊張地区		
1,716人 662戸		
地区名	人口	世帯
立花	55 人	22 戸
眞行田	161 人	61 戸
岩廻間	43 人	20 戸
北浦	154 人	59 戸
篠之萩	89 人	41 戸
郷前	170 人	66 戸
中井	8 人	3 戸
茨ヶ廻間	31 人	18 戸
松ノ洞	51 人	20 戸
松萩	137 人	52 戸
東田	56 人	20 戸
平地	90 人	30 戸
東平地	0 人	0 戸
馬場	26 人	8 戸
東山	26 人	10 戸
早稲田	228 人	102 戸
下田	0 人	0 戸
小稲葉	0 人	0 戸
榎ノ下	0 人	0 戸
観音堂	48 人	16 戸
秋ヶ根	37 人	12 戸
篠井	39 人	16 戸
汐見坂	13 人	3 戸
助六	16 人	8 戸
大目	61 人	19 戸
蛭子	0 人	0 戸
小深	42 人	13 戸
中平	12 人	5 戸
熊張深田	0 人	0 戸
段留	0 人	0 戸
阿畑	2 人	1 戸
雨堤	0 人	0 戸
神門前	22 人	7 戸
堂脇	0 人	0 戸
鯉ヶ廻間	0 人	0 戸
広田	0 人	0 戸
石場	0 人	0 戸
霞ヶ廻間	0 人	0 戸
中屋	40 人	11 戸
神明	0 人	0 戸
北熊	56 人	18 戸
丸山	3 人	1 戸

公園西駅周辺地区の人口（ ） 25 人



■対象とした地区（5 地区）

対象とした地区（5 地区）一覧
神門前、堂脇、広田、石場、丸山

+213(人)

評価値＝238（人）【達成度 ○】

住民基本台帳における計画区域内の合計人口とし、令和 3 年 10 月 1 日時点（最新）の人口に、公園西駅十地区画整理区域内で令和 3 年度中に建築完成予定の住宅数から予測される転入者を加えて算出した。

考え方

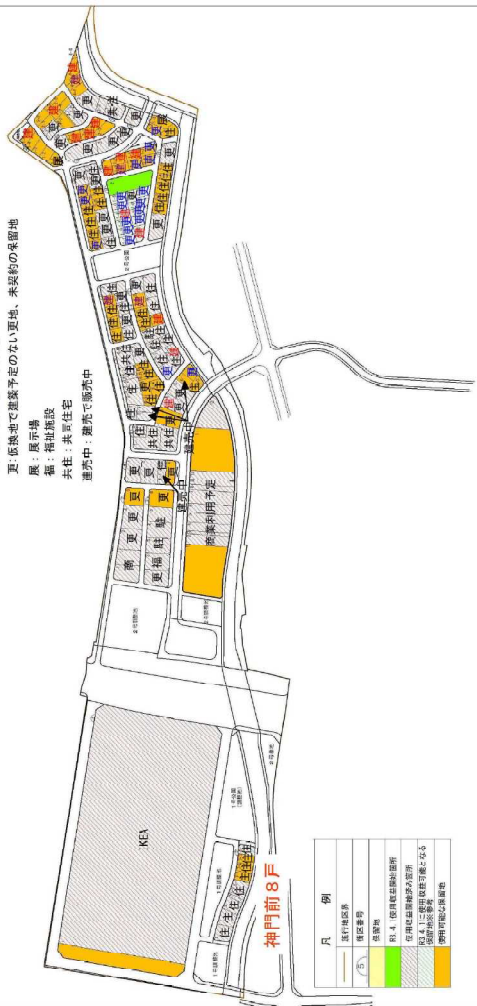
○地区内で平成 25 年度から公園西駅周辺十地区画整理事業が行われており、令和 5 年に完了を予定している。これに伴い宅地化が進んでいるため、令和 3 年 10 月 1 日時点（最新）の人口に、年度内に完成予定の宅地数を考慮し評価値を算出することとした。

名古屋都市計画事業公園西駅周辺土地区画整理事業

建：現在（R3.10.15時点）建築中の戸建て（76申請あり、年度内完成） 14件

①9街区4-1、②12街区2-2、③12街区10、④14街区1-4、
⑤14街区1-12、⑥15街区1-1、⑦15街区1-3、⑧15街区1-5、
⑨18-1街区1-5、⑩18-2街区2-3、⑪19-2街区2-1、
⑫19-2街区2-2、⑬19-2街区2-4、⑭20-2街区4-3

建：建築中だが年度内に完成しない
更：契約済用地で今後建築の可能性がある更地
生：既に住んでいる戸建て
更：仮設等で建築予定のない更地、未契約の保留地
展：展示場
福：福祉施設
共住：共有住宅
建売中、建売で販売中



■公園西駅周辺土地区画整理事業地内の住宅の建築状況（令和3年10月15日時点）

資料：長久手市

〈 評価値の算出 〉

■人口（R3年10月1日時点）

神門前	30 人
堂脇	0 人
広田	0 人
石場	173 人
丸山	0 人
合計	203 人

・・・①

■住宅の建築状況（R3年10月15日時点）と人口増加数（推計）

現在建築中の宅地数 （年度内完成予定）	14 戸
土地区画整理事業で計画される 1戸あたりの人数	2.5 人
推計される人口の増加数	35 人

・・・②

・①②より、評価値を算出

$$\text{①} + \text{②} = 238 \text{ (人)}$$

評価値：238（人）

〈 参考 〉

R4.1月1日時点の人口：219（人）

評価値との差：19（人）